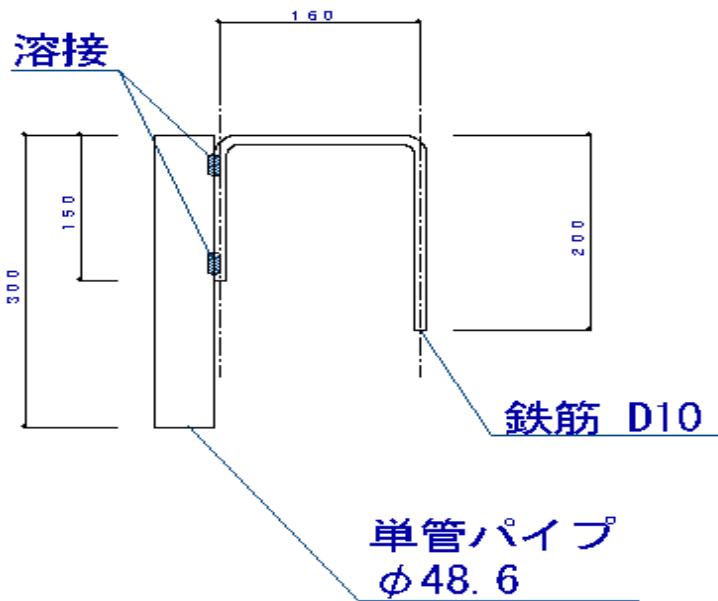


・区分	2040 ハード部門（建築）
タイトル	簡易設置型スリット開口部養生パイプ手摺
動機・改善前の状況	ベランダのスリット部の開口部養生として、従来はコンクリートに埋め込まれたプラスチックコーンのねじ穴を利用して単管パイプをフォームタイで止め、手摺としていた。しかし、プラスチックコーンをモルタルで埋めた後は、この方法を取る事ができず、手摺を外したままになりがちであった。
改善・実施事項	<p>U型に折り曲げ加工した径 13mm の異形鉄筋を長さ 300mm 程度の単管パイプに溶接で固定し、この単管パイプ 2 組を枠組足場用端部ストッパーまたはクランプと単管パイプで連結した。これをスリット両側のパラペットにハンガー式に掛け開口部養生とした。なお、異形鉄筋はパラペットを傷付けないようにビニールホースをかぶせている。端部ストッパーまたはクランプと単管パイプを使用することで手摺の長さが調節でき、スリットの幅に合わせて自在に対応が可能である。考案に当たっては以下の点を考慮した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 持運びができるように軽量化を図る 市販品を利用して製作できる 躯体を傷付けない
改善効果	取付が簡単なため、開口部を放置する事がなくなり、墜落防止として有効であった。



活動内容
改善事項の図、
写真



事例提供先

馬淵建設(株)